



#### ◆ 清水さん

ターゲットカスタマーを絞ることが必要だと思います。100人を引き込むために、まず5人を引き込み、ほかの人が連動して引き込まれていくという考え方です。コアとなる人から徐々にその周囲の方を巻き込んでいくような仕掛けができれば良いと思います。

#### ◆ 軽部さん

県内には、知られているだけでも高山社の分教場が116校ありますので、群馬県は「絹県群馬」と言えると思います。上の世代の多くの方は養蚕をやられた経験がありますので、そのような経験などをもう一度掘り起こして群馬のイメージアップができないかと考えています。先輩方が育ててきた絹文化を改めて掘り起こし、群馬＝絹と言えるようなイメージをつくることができたら良いと考えています。

#### ◆ 白石さん

富岡製糸場や高山社跡ののぼりを掲げて御神輿を担ぐことによってPRできるのではないかと考えています。また、担ぐ際のかげ声も工夫できますので「シルクロードの一番東が群馬。シルクロードの起点である群馬の絹がローマに落ちているかもしれない」そんな夢を語っても良いかもしれません。御神輿を担ぐこと＝PRとなるので、色々と仕掛けていきたいと考えています。

また、東京オリンピックの開会式で御神輿を担がせてもらうという密かな夢も持っています。

#### ◆ 小坂さん

PRする、戦うには武器が必要です。その武器が富岡製糸場と絹産業遺産群です。高山社跡も富岡製糸場も今とほとんど同じにも関わらず、少し前より今の方が輝いて見えます。それは市民の心が変わったからだと思います。一番大切なことは皆さんの心を変えることだと思います。言葉やインターネット、全てのもので群馬県民が力を合わせて群馬の良さを発信することが大切だと思います。

#### ◇ コーディネーター

地域の持つDNAを次の世代に伝えていく役割があると思うが、どのように伝えていくか、考えを伺いたい。

#### ◆ 清水さん

私達は、群馬県より委託された子育て・若者ポジティブキャンペーン2011（社会貢献を通じた若者の交流支援事業）の後継事業として群馬市民立大学を開設し、月に1回学習会をしています。10代から30代の若い世代で、地域のこと、日本のこと、地球のことを一生懸命語り合っています。自分の身の丈以上に考えています。清温育を確立し、技術を広めた高山長五郎の精神を今後も追いかけていきたいと思っています。

